

美術館の展覧会を
お得に楽しめる
年間パスポート

主なメンバーステージ：
「TAKASAGO」
年会費 5,000円



大分県芸術文化友の会
OITA PREF ARTS & CULTURE MEMBERSHIP

| 特典1 | 特典2 | 特典3 |
|-----------|-------------------|-------------|
| 企画展が全て無料！ | コレクション展が 全て無料！ | 駐車券10時間分進呈！ |

※展覧会によっては回数制限があります。
※美術館インフォメーションでもお申込みいただけます。
※ほかにも魅力的なステージがございます。
詳しくは美術館1F インフォメーションまたは以下へ
お問い合わせください。
お問合せ先：大分県芸術文化友の会 びび
TEL：097-533-4025（平日 9:00～17:00）


詳しくはコチラ！

ご利用案内

〈開館時間〉10:00～19:00 ※金曜日・土曜日は20:00まで（入場は閉館の30分前まで）

〈休館日〉なし（館内点検等による臨時休館を除く）

〈駐車場〉屋外駐車場（143台）利用時間 24 時間

地下駐車場（107台）利用時間 8:00～23:00 ※利用時間外出入庫不可

利用料金 最初の30分以内 無料 / 30分を超え1時間以内200円

1時間を超え30分ごと100円 ※ただし23:00～8:00は900円を上限とする

〈アクセス〉JR 大分駅府内中央口（北口）から徒歩15分 大分ICから車で10分




Oita Prefectural Art Museum

〒870-0036 大分市寿町2番1号
https://www.opam.jp



コレクション展

当館の豊富なコレクションから
選りすぐりの名品をご紹介します。
季節やテーマに合わせて様々な
「出会い」をお楽しみください。



福田平八郎 《雲》1950年



児島善三郎 《ミモザを配する草花》1955年



飯塚環环齋 《果籃 待虎》昭和前期

料金 一般 / 300 (250)円、大学・高校生 / 200 (150)円

会場 3F コレクション展示室

※（ ）内は有料入場20名以上の団体料金 ※中学生以下は無料
※高校生は土曜日に観覧する場合は無料
※身体障がい者手帳・療育手帳・精神障がい者保健福祉手帳をご提示の方と
その付添者（1名）は無料。

コレクション展Ⅰ

2026年4月4日（土）～5月31日（日） 休展日：5月7日（木）

コレクション展Ⅱ

2026年6月4日（木）～8月31日（月） 休展日：7月13日（月）

コレクション展Ⅲ

2026年9月4日（金）～11月3日（火・祝） 休展日：10月13日（火）

コレクション展Ⅳ

2027年1月22日（金）～4月4日（日） 休展日：2月15日（月）

教育普及みる・つくる・かんじる



ワークショップ春夏秋冬・体験から鑑賞まで

身体と感覚を活性化させる遊びや制作と、みんなでコレクション展示室の
作品を見ることを組み合わせたワクワク・ドキドキのワークショップです。

アトリエ・ミュージアム みんなでつくろっ！

小さい子どもから大人まで、美術館に来た人は誰でも参加できるワーク
ショップです。いろいろな素材に触ったり、描いたり、つくったりします。
内容は当日来てのお楽しみです。

特別ワークショップ&レクチャー

美術の世界が広がるっておきの時間です。日常の中にある美術や美術作
品のお話会から、美学・美術史の話、専門的な技法講座や専門家を招いて
の講座といった多様な講座を開催します。

スクールプログラム

学校や園を対象とした「みる」「つくる」「かんじる」を組み合わせた
美術体験プログラムや、学校の先生のための講座などを開催します。

共催展

第44回高山辰雄賞ジュニア美術展

会期：2026年8月22日（土）～8月27日（木） 会場：3F 展示室 B
料金：無料 主催：高山辰雄賞ジュニア美術展実行委員会

第62回大分県美術展

会期：2026年10月6日（火）～11月8日（日） 会場：1F 展示室A・3F 展示室B
料金：一般 500 円 大学・高校生 300 円 主催：大分県美術協会

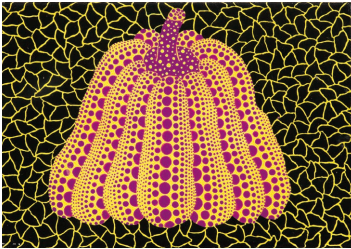
第45回大分県ジュニアデザイン展

会期：2027年3月16日（火）～3月21日（日・祝） 会場：3F 展示室 B
料金：無料 主催：大分県造形教育研究会

2026.4
▼
2027.3

大分県立美術館
年間スケジュール

OITA PREFECTURAL
ART MUSEUM
EXHIBITION SCHEDULE



（上）© 2026 SANRIO CO., LTD. APPROVAL NO. SP660010
（右）草間彌生《かぼちゃ》1990年 Wコレクション
© YAYOI KUSAMA 画像転載禁止
（左）ビエール＝オーギュスト・ルノワール
《長い髪をした若い娘（あるいは麦藁帽子の若い娘）》1884年
三菱一号館美術館寄託

OPAM
Oita Prefectural Art Museum

| | 2026.4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 2027.1 | 2 | 3 |
|---------|----------|-------------------------------|----------|---|-------------------------------------|---|------------|----|---------------------------------|--------|------------------|-----------------|
| 企画展 | | カイ・フランク展 時代を超えるフィンランド・デザイン | | | Hello Kitty展 - わたしが変わるとキティも変わる - | | | | わたしたちのルノワール — 日本が恋した永遠のほほえみ | | | ヨシタケシンスケ展かもしれない |
| | | | | ラブ! ヴァンガード!! 前衛を愛した、あるコレクターの眼 — 草間彌生、ヘイター and more | | | | | 出光美術館名品展 出光佐三のころー美を守り、未来へつなぐ | | | |
| コレクション展 | コレクション展Ⅰ | | コレクション展Ⅱ | | | | コレクション展Ⅲ | | | | コレクション展Ⅳ | |
| 共催展 | | | | 第44回高山辰雄賞ジュニア美術展 | | | 第62回大分県美術展 | | | | 第45回大分県ジュニアデザイン展 | |

4/25^{〔土〕} ▶ 6/14^{〔日〕}

カイ・フランク展 時代を超えるフィンランド・デザイン

会場 1F 展示室 A

フィンランドを代表するデザイナー、カイ・フランク (1911-1989)。人々の暮らしに寄り添い、社会的な課題を解決するデザインを目指したフランクは、「フィンランド・デザインの良心」と呼ばれています。本展はヘルシンキ建築 & デザイン・ミュージアムのコレクションを中心に、ガラス器、陶磁器などの代表作、ファブリック、スケッチ、写真や映像 250 点以上を展示。また3回の来日を果たしたフランクの足跡や、彼に影響を受けたデザイナーの作品も紹介します。時代を超えて今なお愛されるカイ・フランクの作品と、彼のデザインを支える思想に迫る大回顧展です。



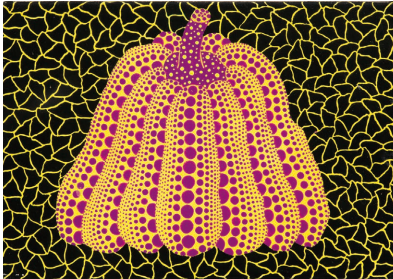
《1621》1955 年、《1610》1954 年
©Architecture & Design Museum Helsinki,
Photo: Rauno Träskelin

6/13^{〔土〕} ▶ 8/16^{〔日〕}

ラブ! ヴァンガード!! 前衛を愛した、あるコレクターの眼 — 草間彌生、ヘイター and more

会場 3F 展示室 B

本展では、一人のコレクターの審美眼に基づき、独創的な表現でアートの先端を切り拓いてきた作家の作品を収集した「Wコレクション」の全貌をご紹介します。「ヴァンガード」（前衛 / 革新 / 先駆）というキーワードのもと、作品収集の原点となった版画界の巨匠スタンリー・ウィリアム・ヘイターから、具体美術協会、河原温、奈良美智など日本の戦後美術を経て、草間彌生へとたどり着いたコレクターの「歩み」と、その「眼識」に迫ります。特にコレクションの中核をなす草間彌生は、初期から現在に至る作家の軌跡と芸術的エッセンスが余すところなく網羅された極めて重要な作品群です。ぜひこの機会にご堪能ください。



草間彌生《かぼちゃ》1990 年 Wコレクション
© YAYOI KUSAMA
画像転載禁止

7/17^{〔金〕} ▶ 9/23^{〔水・祝〕}

Hello Kitty展 - わたしが変わるとキティも変わる -

会場 1F 展示室 A

ハローキティは誕生から半世紀を迎え、今や世界中で知られ、愛されています。世の中を見渡しても稀な存在と言えるでしょう。なぜそのようになり得たのでしょうか？そのヒントは、実はファンひとりひとりとの関係性にあったのです。本展では、「キティとわたし」の50年をテーマに、ハローキティだけが持つユニークさをひも解いていきます。さまざまなテーマの展示コーナーや史上最大量のグッズを展示するほか、個性あふれるアーティストとのコラボ作品、オリジナル映像コンテンツ、フォトスポットなど、見どころと体験にあふれた展覧会です。



© 2026 SANRIO CO., LTD. APPROVAL NO. SP660010

11/13^{〔金〕} ▶ 1/11^{〔月・祝〕}

出光美術館名品展 出光佐三のころ — 美を守り、未来へつなぐ

会場 3F コレクション展示室

出光美術館は、出光興産の創業者であり、美術館創設者の出光佐三 (1885 ～ 1981) が 70 余年の歳月をかけて蒐集した美術品を展示・公開するため、昭和 41 年 (1966)、東京都千代田区丸の内に開館しました。そのコレクションは、国宝 2 件、重要文化財 57 件を含む約 1 万件にのぼります。本展では、出光佐三がこよなく愛した仙厓の禅画、古唐津や中国陶磁から、近現代の日本・西洋の美術、さらには近年新たにコレクション加わった江戸絵画に至るまで、各分野から厳選した名品をご紹介します。



《絵唐津柿文三耳壺（水指）》桃山時代
重要文化財 出光美術館

11/23^{〔月・祝〕} ▶ 1/17^{〔日〕}

わたしたちのルノワール — 日本が恋した永遠のほほえみ

会場 1F 展示室 A

19 世紀を代表するフランス印象派の画家、ルノワール。明るく幸福な雰囲気満ちたその作品は世界中で愛され、ここ日本においても最も人気のある画家の一人です。本展は日本各地の美術館が所蔵するルノワール作品を一堂に集め、遠い異国の画家であったルノワールが日本に受容され、わたしたち日本人にとって身近な画家となっていくまで、いわば、「わたしたちのルノワール」になるまでの変遷を、同時代の印象派作家、影響を受けた日本人作家たちの作品とともにご紹介します。



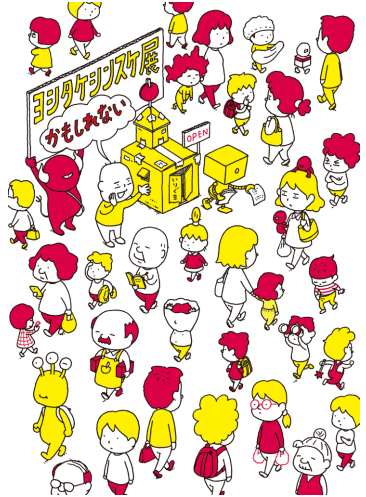
ピエール＝オーギュスト・ルノワール
《長い髪をした若い娘（あるいは麦藁帽子の若い娘）》1884 年
三菱一号館美術館寄託

2027
2/6^{〔土〕} ▶ 4/4^{〔日〕}

ヨシタケシンスケ展かもしれない

会場 1F 展示室 A

本展では、絵本作家・ヨシタケシンスケが長年にわたって身の回りのできごとを描きためたスケッチの複製約 2,500 枚をはじめ、絵本の制作過程をたどることのできるアイデアスケッチや原画、私物コレクションなどをご紹介します。また、ヨシタケシンスケが考案した、うるさいおとなにリングを投げるインタラクティブなアトラクションなど、絵本の世界を体感できる仕掛けが盛りだくさん！発想の豊かさに支えられたヨシタケシンスケの「かもしれない」展示空間を、ぜひご体感ください。



展覧会メインビジュアル ©Shinsuke Yoshitake